



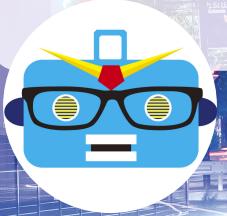
伝えたい事が多く1回では誌面が足らなかったので前回と同じメガゾーン23 PART Iを紹介します。

この作品には「ガーランド」という魅力がでてくるのですがバイクから人型ロボットに変形するというとても男心をくすぐるデザインでした。当時はちょっと無理があるんじゃないかなと思っていたのですが2年ぐらい前に発売されたダイキャストモデルでは完全変形しプロポーションも完璧!しかも可動してポーズまでとれる!とても欲しいです。コクピットはとても狭いのでパイロットはギチギチで怖いだろうな。

そんなに戦闘シーンがあるわけではないですしライバルにボコボコにされてしまうあまりカッコよくはなかったのですがあこがれましたね。

作中に人気絶頂のアイドル「時祭イヴ」というキャラクターがいるのですが、それは人工知能が作った架空の人物という設定で今でいうバーチャルアイドルの先駆けみたいな存在です、今でいうと初音ミクが近い存在かもしれません。当時の技術では夢のような設定でしたがだんだん現実味をおびてきました。

一応リメイクの話が出ているみたいですが5年ぐらいたっているしデザインもなんかイメージが違うような…あまり期待せず待ちたいと思います。

 その時代が人々にとって一番平和な時代だったから

ST

よもやまばなし

長月：露草の間

この時期になると時々懐かしい秋の風を感じます。若き青春の懐かしい空気…。青春と言えば、甲子園の優勝校の監督が「青春は密なので」と青春すら当たり前に過ごすことができなかつた全国の高校生に拍手をと、エールをおくる姿に目頭があつくなりました。そんな夏の終わり、みなさんいかがお過ごしですか。

私が『ずっと覚えてる』の報告書

【徒然草：吉田兼好】
高名の木登り

高名の木登りといひし男、人をおきてて、高き木に登せて梢を切らせしに、いと危ふく見えしほどは言ふ事もなくて、あるとき軒長(のきだけ)ばかりになりて、「あやまちすな。心してありよ」と言葉をかけ侍りしき、

「かばかりになりては、飛びあるるとおりなん。如何(いか)にかく言ふぞ」と申し侍りしかば、

「その事に候。目くるめき、枝危ふきほどは、あのれが恐れ侍れば申さず。あやまちは、やすき所になりて、必ず仕る事に候」といふ。

あやしき下ろうなれども、聖人の戒めにかなへり。鞠も、難き所を蹴出して後、安く思へば、必ず落つと侍るやらん。

このお話を学んだ時、グサッと何かが私の心を纏み、それ以来そのような場面に遭遇すると「軒長ばかりになりて」と合言葉として思い出すようにしています。

 ←これ買いました
わくわくです♪

 ←これ頂きました
美味しくいただきました
ごちそうさまでした♪





夏のおもいで

風鈴づくりの町。
実際行くと、けっこううるさい(笑)

やま